

子どもを認め、励まして

師走を迎え、校庭の木々も冬の装いとなりました。早いもので今年も残り1か月です。先日は音楽会に多数ご参集くださり、誠にありがとうございます。子どもたちは仲間とともに、それぞれ目標をもって一生懸命練習に取り組んできた成果を存分に発揮し、笑顔あふれる本当に素敵な姿を見せてくれました。その姿に感動し、目頭が熱くなりました。素晴らしい音楽会を創ってくれたことに感謝しています。そして保護者の皆様や地域の皆様には、子どもたちの歌声や演奏に、温かな拍手をいただき、子どもたちにとって大きな励みとなりました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



また、6年生は7日から広島へ修学旅行に行きました。平和記念公園では、原爆ドームをはじめ、様々なモニュメントや資料館を見学し、戦争の恐ろしさと平和の尊さについて深く学びました。宮島では厳島神社を訪れ、日本の歴史や文化に触れる貴重な体験をしました。商店街でお土産を選んでいる様子がとても微笑ましかったです。けじめある行動がとれていたのはさすが6年生でした。修学旅行で学んだことを生かし、これからも広野小学校のリーダーとしてよりよい広野小学校を創ってほしいと願います。



これらの他にも2学期は、子どもたちにとって多くの学びや経験がありました。私たち大人が子どもたちの成長やがんばりを認め、伝えることはもちろん大切ですが、子ども自身が振り返る時間をもつことも重要です。昨日より少しできるようになったこと、友だちに優しくできたこと、最後まであきらめずに取り組んだこと、こうした自分の成長や努力を見つめることで、自己肯定感や自己有用感が高まります。

学校ではそのような取組を進めていますが、ご家庭での「あなたの考え方、いいね」「がんばっている姿を見てうれしいよ」といった声かけは、子どもにとって大きな励みになります。また、失敗したときも「挑戦したことがすばらしい」と伝えることで、子どもは安心して次の一步を踏み出せます。こうした積み重ねが、子どもの心に「自分は価値ある存在だ」という確かな感覚を育てます。

子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めることは、学校全体をより明るく前向きにします。そのために、家庭・地域・学校が力を合わせて、子どもたちを支えていきたいと考えております。お力添えをいただけますと幸いに存じます。

12月は2学期、そして令和7年の締めくくりの月です。学習や生活のまとめをしっかりと行うとともに、子どもたちのさらなる成長を目指して、教職員一同、精一杯努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、12月も温かなご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。